

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 足立石灰工業株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 718-0006 新見市足立 3 8 9 3 番地	
本票作成	部署名：生産部				
主たる業種	分類コード	21	業種名：窯業・土石製品製造業		
事業の概要	石灰関連製品の製造・販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	本社工場		新見市足立 3 8 9 3 番地	
	②	といたたす事業部		岡山市北区平野 909-1 セントラル参番館 1 階東	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 1 年度)	(令和 2)年度排出量	目標年度 (令和 6 年度)
	139,629 t CO ₂	108,246 t CO ₂	134,739 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 2)年度排出量
	①	本社工場	108,240 t CO ₂
	②	といたたす事業部	6 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	令和 2 年度	～	令和 6 年度	(5 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(2)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 1.1 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 プロセス起源のGHGは完全に生産量連動の値となるので、管理可能数値の省エネルギー法で言う化石燃料由来のGHGを生石灰生産数量で除した原単位で管理する。	原単位当たり排出量		
		基準年度	(2)年度	目標年度
		352.600 kg CO ₂ /(t CaO)	356.600 kgCO ₂ /(t CaO)	334.800 kgCO ₂ /(t CaO)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 2 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

- ・省エネ法の管理標準に基づき、エネルギー使用状況を把握しながら、省エネ対策に取り組んだ。
- ・高効率型照明の更新は進展があったが、高効率型変圧器の更新については実施できなかった。
- ・低熱効率石灰焼成炉を2020年度年度末に廃止した。
- ・第3次5カ年温室効果ガス削減計画初年度として、CO₂排出原単位の基準年度比99%を目標としていたが、実績105.1%と目標未達となった。非電力(燃焼燃料)CO₂排出原単位実績は基準年度比99.0%で目標通りであったが、電力CO₂排出原単位実績が129.0%と増加した。

【推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備
- ・各部門の課長以上で構成される評価会議を毎月開催し、効率的な設備稼働を検討

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
本社工場 といれたす岡山店	(2020年度実施分) ①照明機器の高効率化順次更新 ②低効率石灰焼成炉の廃止 (今後実施予定分) ①熱効率の低い石灰焼成炉の廃止 ②シングルシャフト炉の排ガス熱回収検討 ③高効率型変圧器・高効率型照明への順次更新 ④再生可能エネルギーの有効利用検討

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ・省エネ巡視 (1回/月)
- ・省エネ啓蒙 (社内掲示板へのアップ：省エネ月間、夏季・冬季の省エネ等)